



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月26日

上場会社名 蝶理株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8014 URL http://www.chori.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 先瀆 一夫
 問合せ先責任者(役職名) 経営政策部長 (氏名) 河村 泰孝 (TEL) 03-5781-6201
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	194,838	△5.6	5,395	39.8	5,686	38.4	3,912	49.2
28年3月期第3四半期	206,442	12.9	3,859	△10.6	4,108	△9.9	2,622	△26.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 2,804百万円(21.3%) 28年3月期第3四半期 2,311百万円(△45.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	159.60	—
28年3月期第3四半期	106.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	94,123	44,315	47.0
28年3月期	98,736	42,882	43.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 44,244百万円 28年3月期 42,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
29年3月期	—	18.00	—		
29年3月期(予想)				20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(平成29年1月26日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	△4.0	6,400	19.2	6,800	23.2	4,700	9.4	191.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(平成29年1月26日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期3Q	25,303,478株	28年3月期	25,303,478株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	787,854株	28年3月期	787,419株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期3Q	24,515,866株	28年3月期3Q	24,517,104株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の景況感に持ち直しが見られるものの、依然、個人消費の低迷が続き、また、為替相場の大幅な変動が企業業績に与える影響が懸念されております。また、世界経済においても、中国を始めとする景気の減速や英国のEU離脱問題に伴う混乱に加え、米国新大統領の経済・貿易政策に対する評価の見極め等不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「躍進2016」の諸施策を着実に推進しております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、期中円高の影響により貿易取扱高が減少し、前年同期比5.6%減の1,948億38百万円となりました。一方、利益面は、採算向上を主因として、営業利益は、前年同期比39.8%増の53億95百万円、経常利益は、前年同期比38.4%増の56億86百万円、税金等調整前四半期純利益は、前年同期比41.6%増の59億1百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比49.2%増の39億12百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

当セグメントにおきましては、売上高は、前年同期比6.9%減の791億3百万円となるも、素材分野が堅調に推移したことに加え、製品分野の構造改善による収益性の改善等により、セグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は、前年同期比41.8%増の31億71百万円となりました。

② 化学品事業

当セグメントにおきましては、売上高は、前年同期比1.5%減の876億20百万円となるも、M&A子会社の連結寄与等を中心にセグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は、前年同期比38.4%増の25億70百万円となりました。

③ 機械事業

当セグメントにおきましては、中南米向け車輛事業の市況の低迷を受け、売上高は、前年同期比13.6%減の280億54百万円となりましたが、取引採算の改善により、セグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は、前年同期比332.8%増の99百万円となりました。

④ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、前年同期比2.2%減の60百万円となるも、セグメント利益（税金等調整前四半期純利益）は、前年同期比120.0%増の24百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、941億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億12百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が37億42百万円減少、のれんが7億64百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、498億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ60億44百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が35億53百万円減少、未払法人税等が14億31百万円減少、長期借入金が7億50百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、443億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億32百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により39億12百万円増加、その他有価証券評価差額金が4億48百万円増加、繰延ヘッジ損益が3億63百万円増加、為替換算調整勘定が19億26百万円減少、配当金の支払により13億23百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済の先行きは、個人消費の低迷及び世界経済の不安定さ等に伴い、依然として不透明であります。当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況であることが予想されます。

当第3四半期連結累計期間における業績を踏まえ、平成28年10月25日に公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年1月26日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,547	10,069
関係会社預け金	1,000	500
受取手形及び売掛金	53,213	49,471
商品及び製品	11,689	12,320
仕掛品	37	26
原材料及び貯蔵品	5	3
未着商品	726	379
繰延税金資産	414	32
その他	3,704	4,546
貸倒引当金	△99	△68
流動資産合計	81,238	77,280
固定資産		
有形固定資産	2,744	2,353
無形固定資産		
のれん	3,816	3,052
その他	216	232
無形固定資産合計	4,032	3,284
投資その他の資産	10,719	11,205
固定資産合計	17,497	16,843
資産合計	98,736	94,123
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,969	38,415
短期借入金	2,758	3,341
未払法人税等	2,049	617
賞与引当金	621	410
返品調整引当金	2	2
関係会社整理損失引当金	140	82
その他	4,874	4,268
流動負債合計	52,416	47,139
固定負債		
社債	10	5
長期借入金	750	—
繰延税金負債	544	598
退職給付に係る負債	2,060	2,024
その他	72	41
固定負債合計	3,437	2,669
負債合計	55,853	49,808

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,700	1,700
利益剰余金	34,211	36,754
自己株式	△785	△786
株主資本合計	41,926	44,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106	555
繰延ヘッジ損益	△56	307
為替換算調整勘定	889	△1,037
退職給付に係る調整累計額	△54	△49
その他の包括利益累計額合計	885	△223
非支配株主持分	71	70
純資産合計	42,882	44,315
負債純資産合計	98,736	94,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	206,442	194,838
売上原価	188,776	175,947
売上総利益	17,665	18,891
販売費及び一般管理費	13,805	13,495
営業利益	3,859	5,395
営業外収益		
受取利息	32	13
受取配当金	173	152
持分法による投資利益	113	108
為替差益	—	33
債務勘定整理益	84	55
雑収入	172	136
営業外収益合計	575	499
営業外費用		
支払利息	41	38
手形売却損	147	66
売上割引	55	53
為替差損	4	—
雑支出	78	50
営業外費用合計	326	209
経常利益	4,108	5,686
特別利益		
固定資産売却益	2	224
投資有価証券売却益	15	80
関係会社株式売却益	48	—
特別利益合計	66	305
特別損失		
子会社移転費用	—	40
固定資産処分損	4	30
投資有価証券売却損	0	9
ゴルフ会員権評価損	—	9
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	7	89
税金等調整前四半期純利益	4,167	5,901
法人税、住民税及び事業税	1,468	1,846
法人税等調整額	73	138
法人税等合計	1,541	1,985
四半期純利益	2,626	3,916
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,622	3,912

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	2,626	3,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	448
繰延ヘッジ損益	93	363
為替換算調整勘定	△321	△1,566
退職給付に係る調整額	8	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△206	△363
その他の包括利益合計	△315	△1,112
四半期包括利益	2,311	2,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,309	2,803
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	84,926	88,991	32,463	206,380	61	206,442	—	206,442
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	303	303	△303	—
計	84,926	88,991	32,463	206,380	365	206,745	△303	206,442
セグメント利益	2,237	1,857	22	4,117	11	4,129	38	4,167

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額38百万円は各報告セグメントで負担しているリスク等負担金の相殺額であります。

3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、ミヤコ化学株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「化学品事業」のセグメント資産が15,077百万円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	79,103	87,620	28,054	194,778	60	194,838	—	194,838
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	313	313	△313	—
計	79,103	87,620	28,054	194,778	373	195,151	△313	194,838
セグメント利益	3,171	2,570	99	5,841	24	5,866	35	5,901

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額35百万円は各報告セグメントで負担しているリスク等負担金の相殺額であります。

3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。